

令和5年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会
及び水稲低コスト技術等検討会開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

人口減少や高齢化、食習慣の多様化等の影響により主食用米の需要が減少する中で、肥料や燃油等の生産資材価格の高騰が稲作農業経営に深刻な影響を及ぼしている。このような情勢の中、低コスト生産による農業者の所得確保等、稲作農業の体質強化を図っていくことが重要であり、これを広域的に推進するためには、産地内外の様々な先進事例や各種コスト低減技術等の普及推進を図る必要がある。

また、自然や生態系の持つ力を巧みに引き出して行われる農業において、その活動に起因する環境負荷の軽減を図り、豊かな地球環境を維持することは、生産活動の持続的な展開に不可欠であり、次世代に向けて取り組まなければならない緊急の課題である。このような情勢の中、稲作農業についても持続的に発展させていくことが重要であり、これを推進するためには、環境負荷軽減の手法等について理解を深めることに加えて、農業生産に携わる個々の関係者の意識として醸成させていく必要がある。

このような状況を踏まえ、東北管内における低コスト技術等の一層の普及・拡大を図るために、東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会及び水稲低コスト技術等検討会を開催する。

2. 共 催 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター
農林水産省東北農政局生産部

3. 開催日時 令和5年8月23日(水) 13:30~16:00

4. 開催方法 Web開催(Zoomで開催予定)

5. 議 事

(1) 水稲の生産コスト低減について(15分)

農林水産省農産局穀物課

(2) 低コスト生産技術の紹介

①福島県における水稲直播栽培の低コスト生産技術(20分)

福島県農林水産部農業支援総室農業振興課 主任主査 鈴木幸雄

②肥料コスト低減技術(20分)

農林水産省農産局技術普及課

~~~休憩(10分)~~~

(3) (有)米の里の考える「農業経営」について(20分)

(有)米の里 齋藤弘之

(4) みどりの食料システム戦略概要と水稲における環境負荷低減に資する技術(15分)

東北農政局生産振興課

(5) 水稲低コスト生産・環境保全に係る意見交換(30分)

東北各県庁、東北農研、東北農政局

## 6. 参集範囲

東北6県の行政・普及部局、公設試験研究機関及び試験研究を担う地方独立行政法人、水稲直播研究会、農林水産省東北農政局、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター、「知」の集積と活用「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他必要と認める者

## 7. 参加申込み

- (1) 東北6県の公的機関：県行政部局におかれては、県内の参加者（県行政・普及部局、試験研究機関）を「別紙 参加申込書」に取りまとめ、8月16日（水）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてメールにて報告してください。
- (2) 上記以外：機関ごとに参加者を「別紙 参加申込書」に取りまとめ、8月16日（水）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてメールにて報告してください。

## 8. 事務局（問い合わせ先）

- (1) 農林水産省東北農政局生産部生産振興課内（担当：新井、佐藤）  
住所：仙台市青葉区本町3-3-1（仙台合同庁舎A棟）  
TEL：022-263-1111（内線4282、4087）  
Mail：daichi\_arai350@maff.go.jp 及び yudai\_sato700@maff.go.jp
- (2) 東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会事務局  
農研機構東北農業研究センター技術適用研究チーム（担当：古畑）  
住所：岩手県盛岡市下厨川字赤平4  
TEL：019-643-3585 FAX：019-641-7794  
Mail：furuhata@affrc.go.jp